

編輯室の内外

路政とか何とか角張つた話の絶え間ない編輯室へ、岡山通信として前長官であつた佐上理事の作られた鴨綠江節が届けられた左に紹介して編輯室も柔い所のあることをお知らせする。

此處は中國岡山の

流れも清き旭川

渡れば天下の後樂園

風光明媚畫のやうな

姿を誰か愛でざらむ

乙女のやうな其の姿

松の梢に鶴は舞ひ

池の汀に鯉おどり

芝生に遊ぶ鳩の群

梅や櫻やふじ躑躅

月雪花と變りゆく

四季さまざまの其の姿

變らぬものは操山

遙に鳥城を仰ぎみて

思ひ盡せぬ延養亭

ア一美なる哉後樂園

昔を今に傳へたる

優しき姿我れ愛でぬ

が、しかし佐上氏が賞讃する夫れ程に岡山は可い所でないことを裏書しておく。

近頃の痛快事をお知らせする、夫れは例の乗合自動車の主管者問題である、幹事路政僧が官吏なる故を以て譴責處分に附せられたが、その所論は正當であつたのであらう、内務次官は地方長官に對して、其の事務の取扱は逓信省の訓令前の從來の通りに取扱へと通牒した、訓令の間接取消と評すべきた、今の世に横車を押すことは社會が許さない、路政僧よ以て慰むるに足らだらう。懶けてゐる譯では無いが、毎號冊子の發

行が遅延するのは讀者各位に對し誠に申譯がない、幹事の職に居る人すら前月號と本月號とを間違へる位であつて、汗顔の至り謹んで謝罪しておく。

折角寄贈された原稿、お願ひして載いた玉稿も、紙數の都合で登載の順延してゐるのが尠くない、是等は已むを得ず新年號に於て發表する積り御諒承を願ひたい。

本號定價 五拾錢

一ヶ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内

發行所 社團 道路改良會

發行人 法人 陸 造

編輯者 上 山 陸 造

東京市小石川區歌訪町五十六

印刷所 常 磐 印刷 所

印刷者 堀 江 關 武